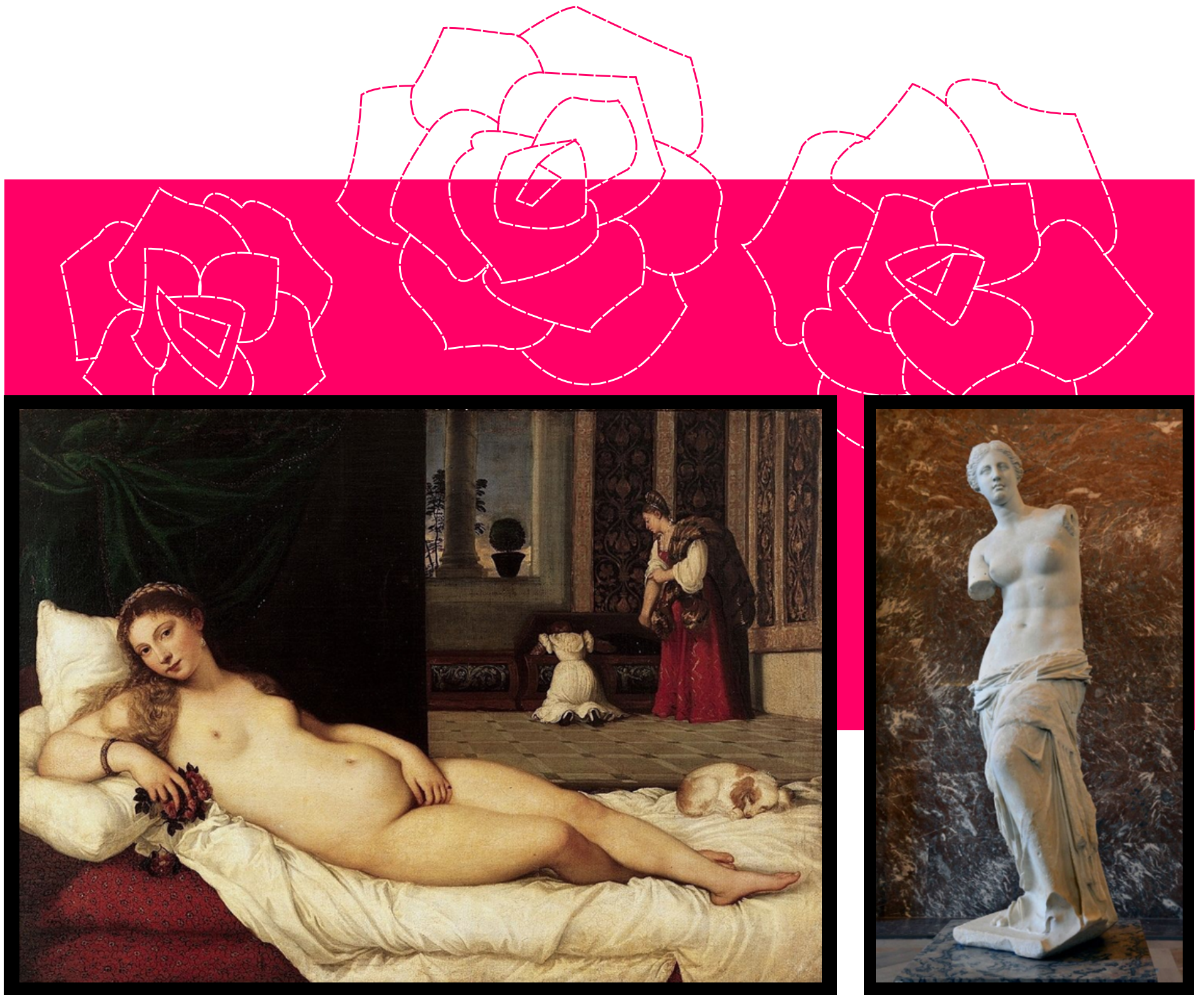


斎藤清美術館 友の会主催イベント
佐々木吉晴館長講座

知られざるヴィーナス

ギリシア時代はアプロディーテー、ローマ時代にはウェヌスと呼ばれた愛と美の女神ヴィーナスは、聖母マリアと並び西洋美術で最も頻繁にとりあげられ、多彩な名作を残す画題のひとつです。「ミロのヴィーナス」や「ウルビーノのヴィーナス」をはじめとして古代から現代にいたるまで、西洋の多くの美術家たちの想像力をかきたててきました。今回の講座「知られざるヴィーナス」では、古代から現代までのそんなヴィーナス像の変遷を、豊富な画像で幅広くご紹介します。



7月28日(日) 14:00 ~ 15:30

ささき よしはる
斎藤清美術館 館長 佐々木 吉晴氏

東北大学文学部哲学科美学西洋美術史専攻卒業。西洋と日本の近現代美術を専門とする。いわき市立美術館学芸員、副館長等を経て現職。いわき明星大学非常勤講師、福島大学客員教授、福島県立美術館、郡山市立美術館、喜多方市美術館作品収集委員なども歴任。斎藤清美術館運営協議委員も務める。